

@PATIENTID

@PATIENTNAME

@PATIENTBIRTH @PATIENTSEXN

# < 口 蓋 裂 > 入 院 診 療 計 画 書

様式10の2

@PATIENTNAME 様 病名 [ @DISEASE ]

症状 [ 口蓋裂による鼻咽腔閉鎖不全を認めます ]

経過 日時(手術日)	1日目(入院日) @SYSDATE	2日目		3日目	4日目～5日目	6日目～7日目	退院
治療 薬 劑 (点滴・内服等)		手術前 朝、熱、脈、呼吸、血圧測定を行います。手術直前に麻酔導入剤を飲みます。	手術後 点滴をします。 夕方に抗生剤を注射します。	朝・夕に抗生剤を注射します。 点滴を抜きます。			朝、主治医が診察し、問題なければ退院します。
処置			適宜、口から吸引をします。	→			
検査	血液検査、胸部レントゲン、心電図検査を行います。		モニターを使用します。(中止の指示まで)				
安静度・リハビリ (訓練・指導を含む)		麻酔導入剤内服後は歩くことは出来ません。	ICU入室となります。 翌朝までうつぶせです。	主治医診察後、うつぶせは解除になります。一般病棟へ移ります。		安静度フリーです。	
食事 (栄養士による指導も含む)	制限はありません。 ※持込は出来ません	医師の指示時間だけ水分が飲めます。	術後はストローは使用できません。	朝、鼻のチューブから糖水20mlを注入します。吐気がなければ、経腸栄養剤を5回/日で注入します。水、お茶はスプーンで口から飲めます。(ただしスプーンは介助)	→	鼻のチューブを抜きます。ミルクは中止して、昼から5分粥の副食ミキサー食を開始します。食器は原則として病院のもののみ使用となります。(創の安静のため)	
清潔・排泄	入浴します。排泄は通常通りです。			清拭します		入浴します。	
看護計画	手術に安心して臨めるよう、介入させていただきます。		全身状態の観察を行います。 安全に過ごせるよう介入させていただきます。				退院の説明を行います。
特別な栄養管理の必要性			● 有				● 無
患者さま及びご家族への説明指導事項	手術について、主治医が説明します。麻酔については麻酔科医が説明します。その後、承諾書を頂きます。手術の時、準備していただく物を説明します。	開き型のオムツを一枚ご用意下さい。お部屋に入る前に必ず、看護師に声をかけてください。	お子様の安静と創部の安静のため、抑制チョッキ、抑制紐を使用することがあります。鼻のチューブを抜かないように注意して下さい。術後、おしゃぶりの使用はできません。	鼻のチューブを抜かないよう、十分注意してください。		栄養科より、退院後のお食事についての指導があります。希望日がある方は、看護師にお申し下さい。	朝 9 時に退院の用意をしておこし下さい。 次回の外来受診日 ( / )

注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、後検査等を進めていくにしたがって変わり得るものです。

注2 入院期間については、現時点で予想されるものです。

注3 当院は救急病院のため、急性期を過ぎた場合に転院をお願いすることがあります。

本人(家族)署名欄 : \_\_\_\_\_

主治医 : 玉田 一敬 \_\_\_\_\_

担当看護師 : \_\_\_\_\_